

(単位:千円)

人にも地球にも やさしいあきたを めざして



●問い合わせ 環境都市推進課 ☎(863)6632
<http://www.city.akita.akita.jp/city/ev/cp/>

平成27年度の家庭ごみ処理 手数料の使い道が決まりました

秋田市では市民のみなさんに、家庭ごみ用有料指定ごみ袋1袋あたり1円の処理手数料を負担していただいております。金額をごみ処理費に充てています。

この手数料相当額は、「秋田市廃棄物の処理および再利用に関する条例」および「秋田市家庭ごみに係る処理手数料相当額の用途等に関する指針」で使い道の範囲が定められており、ごみ減量などの事業費に活用することになっています。

平成27年度の手数料収入は4億5千万円の見込み。活用する事業の内訳は左表のとおりです。

◆用語ワンポイント

あきたスマートシティ ITなどの情報技術と、再生可能エネルギーなどを駆使してまち全体のエネルギー利用の効率化を図り、環境に配慮した先進都市をめざす取り組み

次世代エネルギーパーク エネルギー問題への関心を深めることを目的とした国の認定制度。見学可能な太陽光や風力発電などの次世代エネルギー施設などが、地

平成27年度に手数料相当額を活用する事業	手数料相当額
①家庭ごみ減量等対策事業	
ごみ集積所の美化	15,286
生ごみ処理の普及促進	2,828
集団回収の普及促進	18,720
資源化物の祝日収集	18,930
ごみ減量の情報発信	3,905
不適正排出対策	3,679
不法投棄対策	16,135
家庭ごみ処理手数料収納管理関連経費	15,181
②環境対策事業	
低炭素社会の構築に向けた環境施策	
住宅用太陽光発電普及促進事業	19,606
スマートシティ・プロジェクト推進協議会運営費	10,295
スマートシティ情報統合管理基盤運用経費	27,951
次世代エネルギーパーク運営経費	1,940
木質ペレット等普及促進事業	6,033
あきたスマートシティ地域 ESCO 事業	8,165
地球温暖化対策推進経費	3,910
まちあかり・ふれあい推進事業 (73,034千円の内→)	3,894
市営住宅共用部照明 LED 化事業 (31,090千円の内→)	13,906
森林環境保全整備事業	5,050
森林整備地域活動支援事業 (12,300千円の内→)	3,075
造林事業 (20,455千円の内→)	2,764
吸収源対策公園緑地事業 (20,000千円の内→)	10,000
一つ森公園再生可能エネルギー等導入事業 (73,034千円の内→)	970
中学校再生可能エネルギー等導入事業 (207,637千円の内→)	2,281
その他の生活環境保全対策事業	
微小粒子状物質 (PM2.5) 成分分析調査業務委託	7,731
PCB 廃棄物実態調査経費	2,765
計	225,000
一般廃棄物処理施設整備基金積立金	225,000
計	450,000

地域振興基金積立分の活用

市営住宅共用部照明 LED 化事業 (31,090千円の内→)	3,194
商店街街路灯 LED 化推進事業	700

* 地域振興基金積立分の残額は76,316千円となります。残額は平成28年度以降の事業に活用します。

域に複数あることが認定の要件です

ESCO事業・建物の省エネ診断・改修・維持管理などを、民間の事業者に一括して委託し、エネルギーを削減する事業のこと

新たな一般廃棄物処理 基本計画ができました

平成27年度から37年度までを計画期間とする、「秋田市一般廃棄物処理基本計画」を策定しました。この計画では、今後11年間で、一人1日当たりの家庭系ごみ排出量(資源化物を除く)を、25年度の実績527gから約10%削減し、約480gにするなどを目標として定めています。

目標達成には、市民のみなさん一人ひとりの取り組みが不可欠です。引き続き、生ごみの水切りや雑がみの分別、食べ残しをなくすなど、ご協力をお願いします。

計画の閲覧場所 環境都市推進課(寺内蛭根三丁目、同課ホームページでも)、資料閲覧コーナー(市役所1階)、北部・西部・南部・河辺・雄和の各市民サービスセンター、アルヴェ駅前サービスセンター、岩見三内・大正寺の各連絡所、各市立図書館、各地域センター



「暖冬少雪」の冬になりました

今冬(平成26年11月～27年3月)は、12月の降雪量が山王で平年の1.3倍、雄和正寺で1.7倍となったものの、その後3月までは、平均気温が平年より高く、特に市街地では、「暖冬少雪」が際立つ冬となりました。

市内全域での一斉除雪は、12月の1回のみ。その後も、河辺・雄和地域などを中心に除排雪作業を行いました。稼働日数は昨冬を17日下回る46日でした。

平成26年度の数值...〈〉内は25年度の数值。

累積降雪量▶185㌥(338㌥)

最大積雪深▶24㌥(12月27日に記録)〈41㌥〉

真冬日▶2日〈10日〉

除排雪への要望・苦情など▶2,380件(5,983件)

除排雪作業の稼働日数▶旧秋田市41日(53日)、河辺・雄和地域46日(63日)

除排雪経費▶約9億1千万円(約23億8千万円)

*累積降雪量、最大積雪深、真冬日は、秋田地方気象台のデータです。

問い合わせ 道路維持課☎(864)3643



市民一斉除雪デーで(仁井田地区)

なお、昨年に引き続き1月12日に実施した市民一斉除雪デーには、3千369人が参加し、各地域の小学校の通学路などの除排雪に汗を流しました。

「ゆき総合対策基本計画」に基づいた取り組みのおもな実績

コールセンター▶開設回線数は、状況に応じて3～10回線に対応しました。電話件数は、昨冬の4割程の2千380件でした。GPSを活用した除雪車の稼働状況の公開▶今冬は、昨年より66台多い851台の除雪車にGPS(人工衛星)を活用して位置情報が確認できるシステム▶端末を搭載し、稼働状況と作業履歴などを市ホームページで公開しました

除雪ボランティアの登録、活動▶登録者数は457人で、活動件数は8件でした(昨冬は、登録824人、活動28件)

市では、これらの取り組みを検証し、今後の除排雪体制の整備に活かしていきます。次の冬に向け、引き続き、市民のみなさんのご協力をお願いします。

市政トピックス



3月12日、市役所で行われた受章報告会で。海野団長(左)と穂積市長

市消防団が全国の「優良消防団表彰」を受章

秋田市消防団(海野達雄団長)が、全国の消防団の中から「優良消防団」に選ばれ、3月に東京都で行われた「第67回日本消防協会定例表彰式」で、表彰旗の授与を受けました。

秋田市消防団の受章は、昭和38年以来となります。

消防本部総務課☎(823)4000



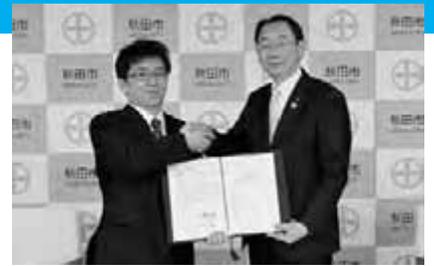
早川みかTAPダンススタジオのみなさんから穂積市長に義援金を贈呈

東日本大震災義援金の寄附がありました

3月18日、早川みかTAPダンススタジオから、東日本大震災義援金として、イベントの収益金356,241円を日本赤十字社秋田県支部秋田市地区(穂積志地区長)に寄附していただきました。ありがとうございました。

福祉総務課地域福祉推進室

☎(866)2090



3月27日、協定締結式で。石田会長(左)と穂積市長

災害時の歯科医療について協定を締結しました

3月27日、秋田市と(一社)秋田市歯科医師会(石田達郎会長)が、「災害時における歯科医療救護活動に関する協定」を締結しました。

協定では、災害時、負傷した市民や避難者が、救護所などで歯科医療の応急処置が受けられることなどを定めています。

保健総務課☎(883)1170